

河島一仁教授 略歴 著書・論文等目録

1955年11月12日 堺市で生まれる

学 歴

1979年3月 立命館大学文学部地理学科地理学専攻卒業

1981年3月 立命館大学大学院文学研究科地理学専攻博士課程前期課程修了

1984年3月 立命館大学大学院文学研究科地理学専攻博士課程後期課程中途退学

職 歴

1984年4月～1989年3月 立命館大学文学部助手

1989年4月～1999年3月 立命館大学文学部助教授

1999年4月～現在 立命館大学文学部教授

(2014年4月～2017年3月 京都学専攻に所属)

研究業績

著書 (単著)

『職人集団の歴史地理—出稼ぎ鍛冶の地域的展開—』古今書院 2021

著書 (分担執筆)

鍛冶・鍛冶屋の通説に関する若干の検討—辞典の記述分析を中心に—

山田安彦教授退官記念論文集記念会編『転換期に立つ地域の科学』古今書院 1993

紀州鍛冶と農村

吉田晶編『歴史の道・再発見 第7巻』フォーラムA 1994

環濠集落の「堺」

山田安彦・山崎謹哉編『歴史の古い都市群 第7巻』大明堂 1994

京の社寺と職人文化—伝統産業の一側面—

二場邦彦編『京は甦る—いま何をすべきか—』淡交社 1996

明治以降の気候災害

羽曳野市史編纂委員会編『羽曳野市史 第1巻 本文編1』羽曳野市 1997

近世村落の空間構成

羽曳野市史編纂委員会編『羽曳野市史 第2巻 本文編2』羽曳野市 1998

誉田鍛冶町と石川右岸地域の金剛砂

羽曳野市史編纂委員会編『羽曳野市史 第2巻 本文編2』羽曳野市 1998

農業地域の変容

羽曳野市史編纂委員会編『羽曳野市史 第2巻 本文編2』羽曳野市 1998

都市化の進展

羽曳野市史編纂委員会編『羽曳野市史 第2巻 本文編2』 羽曳野市 1998

商工業の発展

羽曳野市史編纂委員会編『羽曳野市史 第2巻 本文編2』 羽曳野市 1998

山城での稼場争論を通じてみた埴田村・恵美須講の内部構造

高木正朗編著『空間と移動の歴史地理 地域情報研究シリーズ3』

立命館大学地域情報センター 2001

伝統工業の地域構成

吉越昭久編著『人間活動と環境変化』古今書院 2001

「鑄物師集落」の地理的実態と鍛冶集団との接点一辻を事例として

日下雅義編『地形環境と歴史景観』古今書院 2004

山をゆきかう人々（第1項～第3項）

『愛知県史 別編 民俗3 三河』愛知県 2005

市と職人の世界（第1項～第4項）

『愛知県史 別編 民俗3 三河』愛知県 2005

海でつながる人々

『愛知県史 別編 民俗3 三河』愛知県 2005

伝統産業

金田章裕・石川義孝『日本の地誌8 近畿圏』朝倉書店 2006

仙台藩村方の「屋敷」と庶民の移動—陸奥国西磐井郡・狐禅寺村—

高木正朗編『18・19世紀の人口変動と地域・村・家族—歴史人口学の課題と方法—』

古今書院 2008

海でつながる人々

『愛知県史 別編 民俗2 尾張』愛知県 2008

鍛冶

『愛知県史 別編 民俗2 尾張』愛知県 2008

市に集う人々

『愛知県史 別編 民俗2 尾張』愛知県 2008

大野鍛冶と「江州辻村」の鍛冶・鑄物師

『愛知県史 別編 民俗3 総説』愛知県 2011

アイルランド共和国・County Corkにおける大飢饉の folk memory—1845～1939—

吉越昭久編『災害の地理学』文理閣 2014

19世紀アイルランドにおける海浜リゾート地の形成—Bangorの場合—

立命館大学地理学教室編『観光の地理学』文理閣 2015

論文

福山藩領における人口構造の歴史的变化

立命館文学 427・428・429 1981

出稼職人の集団構造とその地域的展開

- 人文地理 35-6 1983
「紀州鍛冶」の受容に関する一考察—京都府船井郡の場合—
歴史地理学紀要 26 1984
- 南河内における歴史的集落のプランに関する若干の考察
—道路屈曲の機能を中心に—
歴史地理学 135 1986
- 奈良盆地における伝統的農村手工業の変容—農鍛冶を例として—
立命館文学 499 1987
- 「紀州鍛冶」職人集団における受容地域の構成
立命館文学 500 1987
- 木津川西岸・精華町域における農村地域の変容
立命館大学人文科学研究所紀要 47 1988
- 紀州田辺領における農民と鍛冶職人
立命館地理学 1 1989
- 紀州田辺領における「本役鍛冶上下場」地域をめぐる集団間関係
和歌山地理 9 1989
- 職人陶冶と教育機関
立命館文学 530 1993
- 紀州新宮領における仲間外職人と「紀州鍛冶」
立命館文学 527 1993
- 文化要素としての鍛冶—比較文化地理への試み—
地理月報 419 1994
- 京都府における野鍛冶の地域的構成（1874—1940年代）
—『農具便利論』の「其処の鍛冶」をめぐって—
京都地域研究 12 1997
- （共著）「きぬかけの路」地域の地理的性格
立命館地理学 9 1997
- 山城における野鍛冶の地理的分布—『農具便利論』の「其処の鍛冶」をめぐって
立命館文学 553 1998
- 浜松・鍛冶町の金山神社における「記憶」と装置に関する一試論
岐阜地理 43 1999
- 大学と旧制高校の立地で考える近代京都の地理—私立4大学と三高・帝大—
立命館地理学 17 2005
（立命館百年史紀要 15 2007に再掲）
- 京都近郊の地理的变化（1889～1940）—等持院村、マキノ省三、そして中川小十郎—
立命館文学 593 2006
- 近世の集落規模と人口移動—陸奥国磐井郡狐禅寺村の「屋敷」と「小名」
立命館大学人文科学研究所紀要 87 2006

- 東三河における鉄製農具の供給と修理—近世農書と鍛冶集団を中心に—
愛知県史研究 11 2007
- 「紀州鍛冶」と大野鍛冶の歴史地理—近畿・東海の出稼型鍛冶集団—
(社) 日本鉄鋼協会 学会部門 社会鉄鋼工学部会議
「鉄の歴史—その技術と文化—」フォーラム
2009 年秋季講演大会 シンポジウム論文集 2009
- 『農具便利論』における堺の「農具鍛冶」と「其処の鍛冶」
立命館地理学 22 2010
- 大野鍛冶と「江州辻村」の鍛冶・鋳物師
(社) 日本鉄鋼協会 環境・エネルギー・社会工学部会
「鉄の技術と歴史」フォーラム 「鉄—人と道具とその技術—」研究 Gr.
第 5 回例会論文集 2011
- 日本における鋳物師・鍛冶に関する研究の進展
—歴史地理学的「職人集団研究」の可能性—
立命館文学 627 2012
- アイルランドにおける鍛冶・スパードの研究の成果
—Ulster Folk & Transport Museum を中心に—
(一社) 日本鉄鋼協会 総合企画部門 鉄鋼プレゼンス研究委員会
「鉄—人と道具とその技術—」研究 Gr. 第 6 回例会 論文集 2013
- 19 世紀アイルランドのマンスターにおける大飢饉と移民の描写
—“The Illustrated London News” の記事と挿絵を中心に—
立命館文学 639 2014
- アイルランドにおけるフォークライフ研究—野外博物館と鋤を中心に—
歴史地理学 57-5 2015
- 京都における大学の歴史地理—京都御所の周辺地域における変化—
立命館文学 645 2016
- 京都・衣笠の地理的変化 (1868 ~ 1960) —等持院村と立命館—
立命館文学 649 2017
- アイルランドの歴史地理に関する予備的考察—自然環境と歴史的都市—
立命館文学 650 2017
- Geography and the Founding of Open-air Museums in Wales and Ireland
立命館地理学 30 2018
- ガーンジー島における海洋動物学者 H.J.Fleure の形成
—アベリストウイス大学、地理学・人類学部初代教授の学術的背景—
立命館文学 666 2020

調査・研究報告

- 九州陶磁器産地における工業の教育地理学的研究
1994 年度 立命館大学学術研究助成 特定研究 A 研究成果 1966

鍛冶集団の信仰と儀礼を通してみた日本の職人文化

平成9・10年度科学研究費補助金（基盤研究C（2））

長野県の同業組合による信仰造形を通してみた職人文化の民俗学的研究

立命館大学学術研究助成；.（特定研究2）研究成果；1999年度-2000年度 2002

狐禅寺村・周辺地域における庶民の地理的移動—縁組を契機とする—

19～20世紀東北日本の前近代型出生・生存・移動・死亡パターンの歴史人口学的研究

研究代表者 高木正朗

平成15年度～平成18年度科学研究費補助金（基盤研究A）研究代表者 高木正朗

西尾市平坂における交通・交易の民俗文化

『愛知県史 民俗調査報告書2 西尾・佐久島』 愛知県 1999

（共著）竹の地理

『京タケノコと鍛冶文化 長岡京市文化財調査報告40』 長岡京市教育委員会 2000

鍛冶屋の系譜

『京タケノコと鍛冶文化 長岡京市文化財調査報告40』 長岡京市教育委員会 2000

奥三河における芸能従事者と行商人の活動—若松屋の宿帳を用いて—

『愛知県史 民俗調査報告書3 東栄・奥三河』 愛知県 2000

鍛冶屋の回顧録を通してみた津島の交通と交易

『愛知県史 民俗調査報告書4 津島・尾張西部』 愛知県 2001

尾張からの西国三十三ヶ所巡礼を通してみた人々の旅

『愛知県史 民俗調査報告書5 犬山・尾張東部』 愛知県 2002

前挽鋸生産の地域構成 「八里平右衛門家」、「樋口彦三郎家」

甲南町教育委員会編『近江甲賀の前挽鋸』 甲南町 2003

八里平右衛門家

甲南町教育委員会編『近江甲賀の前挽鋸』 甲南町 2003

樋口彦三郎家

甲南町教育委員会編『近江甲賀の前挽鋸』 甲南町 2003

三河吉田鍛冶町と越前鎌鍛冶との競合に関する歴史地理学的研究

—若松屋宿帳、吉田鍛冶町文書、鎌行商人文書を用いて—

福武学術文化振興財団 歴史学・地理学研究助成 2009

近代京都における大学の歴史地理学的研究

—藩邸、公家屋敷、ならびに寺社地の転用を中心に—

国土地理協会 第16回学術研究助成 2016

その他

授業と巡検でみつけた自分の進路

地理 11月増刊号 1988

学界展望「村落」

人文地理 41-3 1989

「紀州鍛冶」との邂逅

The Contour29 立命館大学地理学研究会 1989

古地図に記された Sacay

The Contour 31 立命館大学地理学研究会 1992

右か、左か、鍛冶屋の鞆（ふいご）

The Contour 32 立命館大学地理学研究会 1992

産業地域社会の非産業的要素

The Contour 33 立命館大学地理学研究会 1994

「南宮大社の絵馬様奉納物」調査ノート

The Contour 34 立命館大学地理学研究会 1995

鍛冶にかかわる全国的な組織はなかったのか？

The Contour 35 立命館大学地理学研究会 1996

大野鍛冶、紀州鍛冶、そして辻一近畿と東海の鍛冶集団—

The Contour 36 立命館大学地理学研究会 1997

上田における鍛冶と鋳物師

The Contour 37 立命館大学地理学研究会 1997

展示批評 安城市歴史博物館企画展示「農鍛冶の世界—村とくらしと鉄器—」

民具研究 113 1997

浜松と与板の金山神社

The Contour 38 立命館大学地理学研究会 1998

書評 有蘭正一郎『ヒガンバナが日本に来た道』海青社 1998

立命館地理学 11 1999

文献紹介 小林健太郎『近江地域研究』ナカニシヤ出版 1998

歴史地理学 42-3 2000

史跡マップ—事例と指導のコツ

社会科教育 554 明治図書 2005

アイルランドの鍛冶調査ノート

日本アイルランド協会会報 56 2005

Ulster Folk & Transport Museum と地理学

日本アイルランド協会会報 75 2009

文献紹介 有蘭正一郎『農耕技術の歴史地理』古今書院 2007

歴史地理学 50-3 2008

地理学専攻七十五年の歴史と広小路学舎での三年間

『立命館大学 文学部の八十年』立命館大学文学部 2008

私の学生時代—夏の暑さで思い出したこと—

立命館大学文学部校友会会報 2 2010

技術移動と民具（鍛冶屋）

日本民具学会編『民具学事典』丸善出版 2020

非常勤講師（五十音順）

関西学院大学、京都教育大学、岐阜経済大学、花園大学、佛教大学

学内役職

1994年4月～1995年3月	文学部学生主事
2003年4月～2004年3月	地理学専攻主任
2007年4月～2008年9月	地理学専攻主任
2009年9月～2010年3月	地理学専攻主任
2013年4月～2014年3月	地理学専攻主任
2013年4月～2014年3月	地域研究学域長
2016年4月～2016年9月	京都学専攻主任

所属学会と社会に対する貢献

人文地理学会（編集委員：1990年11月1日～1991年10月31日、1992年11月1日～1993年10月31日、1993年11月1日～1994年10月31日、2002年11月1日～2003年10月31日、2003年11月1日～2004年10月31日、選挙管理委員：1992年、集会委員；1995年11月1日～1996年10月31日、1996年11月1日～1997年10月31日、評議員：1998年11月1日～2000年10月31日、2000年11月1日～2002年10月31日、協議員：2002年11月1日～2004年10月31日、2004年11月1日～2006年10月31日、理事・代議員：2014年10月～2016年9月、代議員：2018年10月1日～2020年9月30日、2020年10月1日～2022年9月30日）

歴史地理学会（評議員：1999年～2001年、2005年～2007年）

日本民具学会（評議員：2013年～2015年）

日本地理学会、地理科学会、日本民俗学会、たたら研究会、日本アイランド協会

愛知県史編さん委員会 民俗部会 特別調査委員（1997年～2011年）

